



作業療法の学び直し！

ライフサイクル

教育班

田染 佐夏

はじめに

作業を介してリハビリテーションを行う利点についてもっと説明できるようにになりたいですか？

対象者の人生史に関わる作業療法にとって、介入の根拠となる概念が必要です。

それが…

ライフサイクル



ライフサイクルとは

人は生涯をかけて発達し、その段階ごとに発達課題をもつ

- 発達課題とは、「人の生涯のそれぞれの時期に生じる課題で、それを達成すればその人は幸福になり、次の発達段階の課題の達成も容易になる。」^{※1}とされています。
- エリクソンは生涯を8つのライフサイクルに分けて各段階の発達課題を示しました。



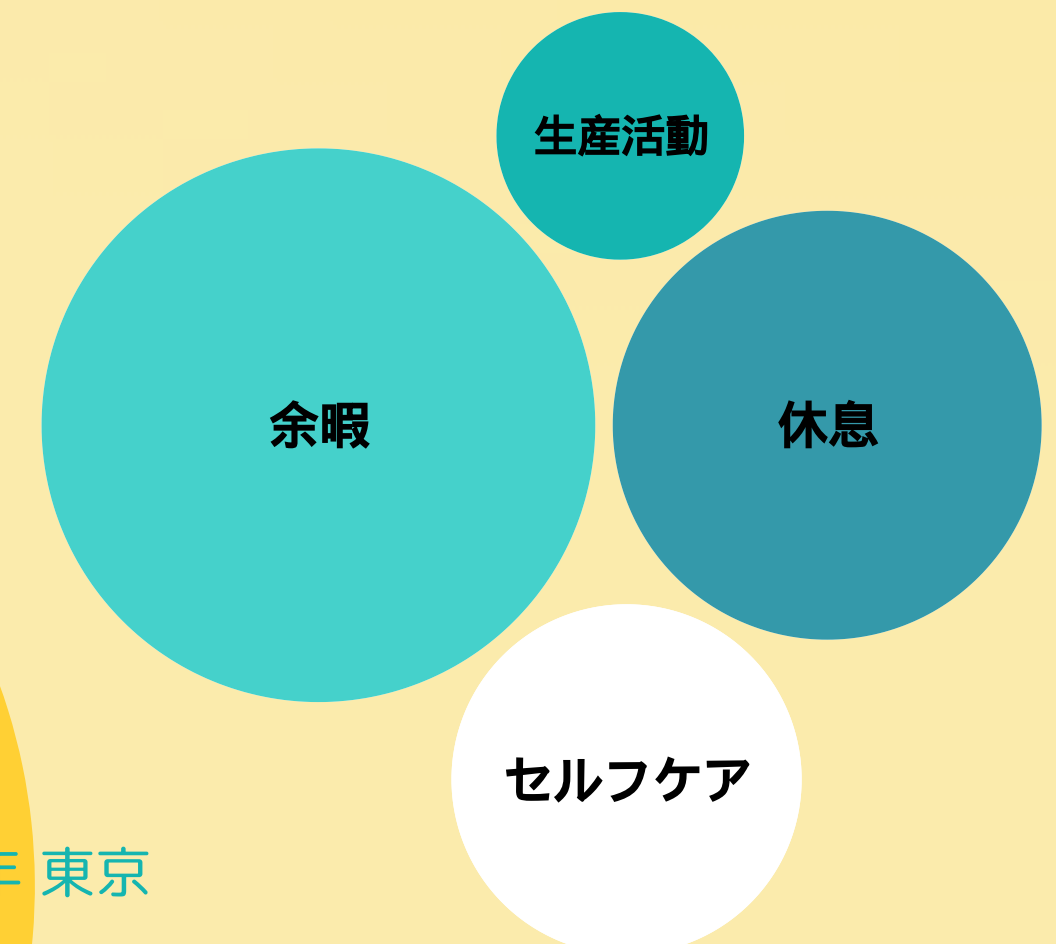
※1) 参考：ガイドライン生涯発達心理学 編著:二宮克美ほか 株式会社ナカニシヤ出版 P.7 2007年 京都

老年期 61歳～

- 仕事：徐々に社会的役割からは退く※2
- 余暇：個人の趣味やボランティアなど社会的活動が行われる※2
- セルフケア：機能を維持する※2
- 休息：ゆったりとした時間を過ごし人生経験の統合機能を果たす※2

生産活動が生活の中心だった成人期と比較すると余暇の時間が増えます。セルフケアにかかる時間量は成人期とほぼ変わりません。

※2) 参考：ひとと作業・作業活動 第2版 編著:鎌倉矩子ほか 株式会社三輪書店 2008年 東京





バザーの販売品を作ろう



機能維持のために体操教室へ参加しよう

病気や障害があっても、発達課題を達成する
ことで幸福の増進ができます。



楽しくて、ワクワクする作業療法を実践しませんか？

おわりに

様々な裏付けを用いて作業療法実践の糧にしましょう。

作業を用いた実践が感覚的に重要であることは多くの作業療法士が理解しています。
しかし、EBMが基盤となる医療の中で作業実践をするには根拠が必要になります。
ぜひ、ライフサイクルの視点を作業療法に活かしてみましょう！

印西総合病院 作業療法士 田染 佐夏



読んでいただきありがとうございました